



## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成29年8月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	37,662	△2.2	807	△12.1	828	9.6	541	7.4
28年12月期第2四半期	38,511	△1.6	918	117.3	755	109.2	504	200.9

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 512百万円 (47.8%) 28年12月期第2四半期 346百万円 (△23.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	8.89	—
28年12月期第2四半期	8.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	48,030	20,606	38.4
28年12月期	52,310	20,940	35.9

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 18,454百万円 28年12月期 18,761百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	7.00	7.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	△1.5	2,100	1.0	1,950	3.6	950	55.5	15.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期2Q	65,586,196 株	28年12月期	65,586,196 株
29年12月期2Q	4,926,646 株	28年12月期	3,566,982 株
29年12月期2Q	60,926,030 株	28年12月期2Q	62,734,394 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績利用のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

○第2四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られ緩やかな景気回復基調にあるものの、米国経済の不確実性や中国・アジア新興国経済の減速、不安定な円相場など景気下振れリスクの懸念もあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは中長期戦略「長期ビジョン100」の実現、「中期経営計画2020」の達成に向けて、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、「長期ビジョン100」で掲げた重要課題である5本の柱への取組みを進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、37,662百万円(前年同期比2.2%減)となりました。利益面では、営業利益は807百万円(前年同期比12.1%減)、経常利益は828百万円(前年同期比9.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は541百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	18,655	99.1
		チューハイ	2,894	80.9
		清酒	2,634	92.5
		合成清酒	1,389	92.5
		販売用アルコール	3,836	101.5
		みりん	203	89.5
		29,614	96.3	
	洋酒部門	3,033	101.4	
	その他の部門	614	98.3	
		33,261	96.8	
加工用澱粉		1,918	97.1	
酵素医薬品		2,306	116.3	
不動産		164	99.3	
その他		9	98.3	
	合 計	37,662	97.8	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、国内の人口減少や少子高齢化により市場の伸張が期待しにくく、企業間の販売競争も激化している中、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行いました。売上高は33,261百万円(前年同期比3.2%減)となりました。利益面につきましては、136百万円の営業損失(前年同期は216百万円の営業利益)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、甲類焼酎の「ビッグマン」シリーズ、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」などが好調に推移いたしました。甲類焼酎「ビッグマン」においては、2015 ラグビー日本代表のリーチ マイケル氏を起用し、北海道限定でTVCMを放映しているほか、新発売の静岡県限定、青森県限定ビッグマンについてもTVCMを放映するなど、地域における強みを活かした展開を進めております。また、しそ焼酎「鍛高譚(たんだかたん)」が発売25周年、本格焼酎「博多の華 むぎ」が発売35周年を迎え、WEBによる動画広告を公開するなど新しいファン獲得に向けた取組みも進めております。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、全国のご当地素材を使用したチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズが好調に推移いたしました。PB商品の減少により売上高は減少いたしました。

また、引き続き市場が縮小している清酒、合成清酒の売上高減少が影響した結果、和酒部門の売上高は前年同期に

比べ減少しました。

洋酒部門においては、輸入ワインの売上高は減少したものの、「ウイスキー 香薫(こうくん)」やPB商品のウイスキーが伸張した結果、売上高は増加いたしました。なお、明治時代に東京・浅草で生まれた「電気ブラン」シリーズに、“新感覚”ハイボール「東京浪漫(とうきょうろまん) 電気ブランハイボール」を追加しております。

その他、しそ焼酎「鍛高譚」、「鍛高譚の梅酒」、「鍛高譚R」、「博多の華 むぎ 三年貯蔵」、「琥珀色の博多の華 麦」がモンドセレクション優秀品質金賞を受賞し、当社の高い品質が評価されました。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、シリアル食品用及び菓子用グリッツの販売数量が増加したものの、ビール用グリッツの販売数量が減少したため、売上高は1,918百万円(前年同期比2.9%減)となりましたが、原価の低減等により営業利益は139百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

#### 【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、酵素部門における海外での販売数量が増加したことなどにより、売上高は2,306百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益は686百万円(前年同期比51.3%増)となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業については、売上高は164百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益は112百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産につきましては、48,030百万円となり、前連結会計年度末と比較し4,279百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、27,424百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,945百万円の減少となりました。これは主に季節要因による未払酒税及び未払金の減少によるものであります。

純資産につきましては、20,606百万円となり、前連結会計年度末と比較して334百万円の減少となりました。これは主に自己株式の取得によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は1,415百万円となり、前連結会計年度末と比較して22百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、447百万円(前年同期比497百万円増)となりました。これは主に未払酒税の減少額3,510百万円、仕入債務の減少額999百万円等がありましたものの、売上債権の減少額4,597百万円のほか、減価償却費756百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出1,698百万円等がありましたので、1,720百万円(前年同期比1,253百万円減)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払額433百万円、長期借入金の返済による支出410百万円、自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出300百万円等がありましたものの、短期借入金の純増加額2,050百万円がありましたので、804百万円(前年同期比557百万円増)の資金増加となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、第2四半期までの動向などを踏まえ、売上高においては、平成29年2月9日発表の業績予想を下回る見込みに修正しております。なお、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益については、前回予想を変更していません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(株式給付信託(BBT))

当社は、平成29年3月23日開催の第110期定時株主総会決議に基づき、取締役(社外取締役を除きます。)の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下「本制度」といいます。)を導入しております。

#### (1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役に対して、当社が定める「役員株式給付規程」に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

#### (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第2四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、74百万円及び267,000株であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,888	1,419
受取手形及び売掛金	19,791	15,193
商品及び製品	6,264	6,577
仕掛品	192	319
原材料及び貯蔵品	1,151	868
繰延税金資産	623	546
その他	611	322
貸倒引当金	△23	△7
流動資産合計	30,500	25,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,302	25,712
減価償却累計額	△18,625	△18,868
建物及び構築物(純額)	6,676	6,844
機械装置及び運搬具	32,392	32,523
減価償却累計額	△29,361	△29,750
機械装置及び運搬具(純額)	3,030	2,773
その他	2,037	2,077
減価償却累計額	△1,851	△1,876
その他(純額)	185	200
土地	8,825	9,851
建設仮勘定	21	65
有形固定資産合計	18,739	19,735
無形固定資産		
のれん	264	232
その他	333	299
無形固定資産合計	598	531
投資その他の資産		
投資有価証券	1,826	1,843
繰延税金資産	255	297
その他	396	389
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	2,471	2,524
固定資産合計	21,809	22,791
資産合計	52,310	48,030

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,234	4,493
電子記録債務	1,172	915
短期借入金	3,060	5,100
リース債務	23	29
未払金	4,244	3,848
未払酒税	8,881	5,371
未払法人税等	412	233
賞与引当金	61	61
役員賞与引当金	54	24
設備関係支払手形	159	39
その他	1,410	970
流動負債合計	24,714	21,086
固定負債		
長期借入金	1,600	1,200
長期預り金	3,192	3,222
リース債務	43	50
退職給付に係る負債	1,295	1,284
役員株式給付引当金	—	5
資産除去債務	122	122
繰延税金負債	291	340
その他	110	111
固定負債合計	6,654	6,337
負債合計	31,369	27,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,580	5,594
利益剰余金	6,411	6,519
自己株式	△759	△1,129
株主資本合計	18,179	17,930
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	542	551
繰延ヘッジ損益	81	6
退職給付に係る調整累計額	△42	△35
その他の包括利益累計額合計	581	523
非支配株主持分	2,179	2,152
純資産合計	20,940	20,606
負債純資産合計	52,310	48,030



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	38,511	37,662
売上原価	31,164	30,516
売上総利益	7,346	7,145
販売費及び一般管理費	6,428	6,338
営業利益	918	807
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	19
受取賃貸料	40	40
雑収入	25	49
営業外収益合計	85	110
営業外費用		
支払利息	62	48
操業休止等経費	96	19
為替差損	77	—
雑損失	12	20
営業外費用合計	248	89
経常利益	755	828
特別利益		
固定資産売却益	26	—
受取保険金	44	—
特別利益合計	71	—
特別損失		
固定資産除売却損	7	3
投資有価証券評価損	7	—
施設利用権処分損	—	2
その他	0	0
特別損失合計	15	5
税金等調整前四半期純利益	811	822
法人税等	260	251
四半期純利益	550	570
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	504	541

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	550	570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△169	9
繰延ヘッジ損益	△47	△75
退職給付に係る調整額	13	7
その他の包括利益合計	△203	△58
四半期包括利益	346	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306	483
非支配株主に係る四半期包括利益	39	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	811	822
減価償却費	876	756
のれん償却額	31	31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△113	△10
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	80	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△30
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	5
受取利息及び受取配当金	△19	△19
支払利息	62	48
固定資産売却益	△26	—
固定資産除売却損	7	3
投資有価証券評価損益(△は益)	7	—
受取保険金	△44	—
売上債権の増減額(△は増加)	5,865	4,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△197	△156
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,156	△999
未払酒税の増減額(△は減少)	△4,064	△3,510
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△26	174
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,379	△893
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△155	31
その他	20	14
小計	552	849
利息及び配当金の受取額	19	19
利息の支払額	△85	△71
保険金の受取額	44	—
法人税等の支払額	△581	△351
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50	447
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
地方自治体からの補助金による収入	188	—
固定資産の取得による支出	△650	△1,698
固定資産の除売却による収支(△は支出)	20	△1
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△21	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△466	△1,720

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,150	2,050
長期借入金の返済による支出	△440	△410
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10	△13
配当金の支払額	△438	△433
非支配株主への配当金の支払額	△3	△12
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△9	△29
自己株式の取得による支出	△0	△55
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	—	△300
自己株式取得目的の金銭の信託の終了による収入	—	10
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>246</b>	<b>804</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△270	△468
現金及び現金同等物の期首残高	1,662	1,883
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,392	1,415

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月30日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において、自己株式1,088,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が293百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,129百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	34,374	1,976	1,983	165	38,500	10	—	38,511
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	9	—	—	—	9	—	△9	—
計	34,384	1,976	1,983	165	38,510	10	△9	38,511
セグメント利益	216	124	453	118	912	5	—	918

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,261	1,918	2,306	164	37,652	9	—	37,662
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	—	—	—	6	—	△6	—
計	33,268	1,918	2,306	164	37,658	9	△6	37,662
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△136	139	686	112	801	5	—	807

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 平成29年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

**オエノンホールディングス株式会社**

平成29年8月4日

# 1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成28年1月1日 至平成28年6月30日	自平成29年1月1日 至平成29年6月30日		
酒類事業	34,374	33,261	△ 1,112	96.8
加工用澱粉事業	1,976	1,918	△ 57	97.1
酵素医薬品事業	1,983	2,306	323	116.3
不動産事業その他	176	174	△ 1	99.3
売上高	38,511	37,662	△ 848	97.8
売上原価	31,164	30,516	△ 647	97.9
売上総利益	7,346	7,145	△ 200	97.3
販売費及び一般管理費	6,428	6,338	△ 89	98.6
酒類事業	216	△ 136	△ 352	-
加工用澱粉事業	124	139	14	111.8
酵素医薬品事業	453	686	232	151.3
不動産事業その他	124	117	△ 6	95.0
営業利益	918	807	△ 111	87.9
営業外収益	85	110	24	128.7
営業外費用	248	89	△ 159	35.8
経常利益	755	828	72	109.6
特別利益	71	-	△ 71	-
特別損失	15	5	△ 9	37.9
税金等調整前四半期純利益	811	822	11	101.4
法人税等合計	260	251	△ 8	96.6
四半期純利益	550	570	19	103.6
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	28	△ 17	62.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	504	541	37	107.4
1株当たり四半期純利益※円	8.05	8.89	0.84	110.4
設備投資額	662	1,680	1,018	253.7

## 2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成28年1月1日 至平成28年6月30日	自平成29年1月1日 至平成29年6月30日		
焼酎	18,821	18,655	△ 165	99.1
（甲類焼酎）	(7,720)	(7,539)	(△ 180)	(97.7)
（乙類焼酎）	(11,100)	(11,115)	(15)	(100.1)
チューハイ	3,575	2,894	△ 681	80.9
清酒	2,849	2,634	△ 215	92.5
合成清酒	1,502	1,389	△ 113	92.5
アルコール	3,780	3,836	56	101.5
みりん	227	203	△ 23	89.5
洋酒	2,992	3,033	40	101.4
その他	625	614	△ 10	98.3
酒類計	34,374	33,261	△ 1,112	96.8
加工用澱粉	1,976	1,918	△ 57	97.1
酵素医薬品	1,983	2,306	323	116.3
不動産	165	164	△ 1	99.3
その他	10	9	△ 0	98.3
合計	38,511	37,662	△ 848	97.8



### 3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	△ 352	運送費など販管費の減+80 売上高減少による総利益減△190 原材料コストの上昇による原価増△80 製品構成の影響等△162
加工用澱粉事業	14	原価の低減
酵素医薬品事業	232	売上高の増加
不動産事業その他	△ 6	
営業利益	△ 111	
営業外収益	24	
営業外費用	159	為替差損、操業休止等経費の減
経常利益	72	
特別利益	△ 71	前年:受取保険金
特別損失	9	
税金等調整前四半期純利益	11	
法人税等	8	
四半期純利益	19	
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	
親会社株主に帰属する四半期純利益	37	

#### 4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成28年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成29年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,888	1,419	△ 468	75.2	
受取手形及び売掛金	19,791	15,193	△ 4,597	76.8	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,609	7,765	156	102.1	
繰延税金資産	623	546	△ 77	87.6	
その他	611	322	△ 289	52.6	
貸倒引当金	△ 23	△ 7	15	-	
流動資産合計	30,500	25,239	△ 5,261	82.8	
建物	5,468	5,667	199	103.7	
土地	8,825	9,851	1,026	111.6	
その他	4,446	4,216	△ 229	94.8	
有形固定資産計	18,739	19,735	996	105.3	
無形固定資産	598	531	△ 66	88.9	
投資有価証券	1,826	1,843	17	100.9	
長期前払費用	172	163	△ 9	94.7	
繰延税金資産	255	297	41	116.4	
その他	224	226	2	101.1	
貸倒引当金	△ 7	△ 7	0	-	
投資その他の資産計	2,471	2,524	52	102.1	
固定資産合計	21,809	22,791	981	104.5	
資産合計	52,310	48,030	△ 4,279	91.8	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成28年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成29年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,407	5,408	△ 999	84.4	
短期借入金	3,060	5,100	2,040	166.7	
未払金	4,244	3,848	△ 395	90.7	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	8,881	5,371	△ 3,510	60.5	季節要因による売上高減
その他	2,121	1,358	△ 762	64.1	未払法人税及び未払消費税の減
流動負債合計	24,714	21,086	△ 3,627	85.3	
長期借入金	1,600	1,200	△ 400	75.0	
その他	5,054	5,137	82	101.6	
固定負債合計	6,654	6,337	△ 317	95.2	
負債合計	31,369	27,424	△ 3,945	87.4	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,580	5,594	13	100.2	
利益剰余金	6,411	6,519	107	101.7	
自己株式	△ 759	△ 1,129	△ 369	-	自己株式の取得による減
株主資本合計	18,179	17,930	△ 248	98.6	
その他有価証券評価差額金	542	551	8	101.7	
繰延ヘッジ損益	81	6	△ 75	7.8	
退職給付に係る調整累計額	△ 42	△ 35	7	-	
その他の包括利益累計額合計	581	523	△ 58	89.9	
非支配株主持分	2,179	2,152	△ 27	98.8	
純資産合計	20,940	20,606	△ 334	98.4	
負債純資産合計	52,310	48,030	△ 4,279	91.8	

自己資本比率※%	35.9	38.4	2.5	
----------	------	------	-----	--

## 5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日	当連結会計年度 自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	71,358	69,850	△ 1,508	97.9
加工用澱粉事業	3,982	3,825	△ 156	96.1
酵素医薬品事業	3,521	3,977	456	113.0
不動産事業その他	350	346	△ 4	98.8
売上高	79,212	78,000	△ 1,212	98.5
売上原価	64,021	62,979	△ 1,042	98.4
売上総利益	15,191	15,021	△ 170	98.9
販売費及び一般管理費	13,111	12,921	△ 190	98.5
酒類事業	723	657	△ 66	90.8
加工用澱粉事業	352	151	△ 201	42.8
酵素医薬品事業	769	1,071	301	139.2
不動産事業その他	234	221	△ 13	94.3
営業利益	2,079	2,100	20	101.0
営業外損益	△ 197	△ 150	47	-
経常利益	1,882	1,950	67	103.6
特別損益	△ 535	△ 350	185	-
税金等調整前当期純利益	1,346	1,600	253	118.8
法人税等合計	657	580	△ 76	88.3
当期純利益	689	1,019	329	147.9
非支配株主に帰属する当期純利益	78	69	△ 9	88.3
親会社株主に帰属する当期純利益	610	950	339	155.5

## 6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成28年 1月 1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日		
焼 酎	39,427	39,355	△ 71	99.8
( 甲 類 焼 酎 )	(15,797)	(15,516)	(△ 280)	(98.2)
( 乙 類 焼 酎 )	(23,630)	(23,838)	(208)	(100.9)
チ ュ ー ハ イ	7,138	6,193	△ 945	86.8
清 酒	5,908	5,373	△ 535	90.9
合 成 清 酒	3,197	2,881	△ 315	90.1
ア ル コ ー ル	7,368	7,572	203	102.8
み り ん	514	488	△ 25	95.0
洋 酒	6,560	6,770	209	103.2
そ の 他	1,243	1,216	△ 27	97.8
酒 類 計	71,358	69,850	△ 1,508	97.9
加 工 用 澱 粉	3,982	3,825	△ 156	96.1
酵 素 医 薬 品	3,521	3,977	456	113.0
不 動 産	329	325	△ 4	98.8
そ の 他	20	20	0	98.7
合 計	79,212	78,000	△ 1,212	98.5